

宮城県高体連剣道専門部代替大会ガイドライン

宮城県高体連剣道専門部

(一財)全日本剣道連盟では、6月4日付けで「稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」の制定、6月10日付けで「対人稽古自粛のお願い」を解除する旨を発表しました。また、(一財)宮城県剣道連盟が6月7日付けで「対人稽古再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」を発表しました。

これを受けて、宮城県高体連剣道専門部では、全日本剣道連盟と宮城県剣道連盟のガイドラインを参考に稽古を再開致しました。各学校におきましては、剣道の稽古が「3密(密閉・密集・密接)」に当該し新型コロナウイルスの感染源になる恐れがあるという事実を踏まえ、今後も各ガイドラインに沿って稽古を行ってください。

6月9日に宮城県専門委員長会議が開催され、宮城県教育委員会および宮城県高体連から3年生の生徒たちが今までの活動の成果を発表する場をできる限り設けてほしいという要望がありました。本専門部としましても、趣旨を理解しできる限り実施に向けて準備をしていこうと考えております。その準備に際して、宮城県教育庁スポーツ健康課が発表した「新型コロナウイルス感染症に対応した大会開催に関する留意事項について」を参考とし、慎重に協議して、このガイドラインを制定致しました。

ガイドライン

1 大会参加に当たって～参加生徒心得および顧問の先生方の指導事項について～

(1) 生徒心得

- 大会参加に当たっては、全ての選手・マネージャー・補助役員が2週間前から健康状態を確認し、保護者の署名、捺印をした「大会参加に関する確認書」を必ず顧問の先生に提出すること。
- 全ての選手・マネージャー・補助役員を問わず、マスク(通常のマスク及び選手は面マスクも)とタオルをそれぞれ全員が持参し、会場内ではできる限りマスクを着用し、手洗い等の際は自分のタオルを用いること。
- こまめな手洗い(石けんにより30秒程度)、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- トイレの蓋は、できる限り閉めて汚物を流すこと。
- できる限り他の参加者や大会関係者との距離を確保すること。
- 更衣室では他の参加者と密になることを避けること。
- 熱中症予防のため、水分補給はこまめに行うこと。(コップの使い回し等は避けること)
- ゴミは感染防止のため、各自で持ち帰ること。ゴミ袋は大会本部で用意します。
- 応援は拍手のみとする。
- 体調が良くない場合(例、発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触者は、大会に参加しないこと。

- 感染防止のために宮城県高体連剣道専門部が決めたその他の措置の遵守及び指示に従うこと。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、宮城県高体連剣道専門部に対して、速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。感染者対策として「大会参加に関する確認書」と「健康観察報告書」は大会終了後、個人情報の取り扱いを十分に注意して、宮城県高体連剣道専門部で1ヶ月保管する。

(2) 顧問の先生方をお願いしたい指導事項

- 各校顧問は、「大会参加に関する確認書」・「健康観察報告書」（選手の大会当日の検温と健康状態）を、受付にご提出ください。
- 上記「生徒心得」をよくお読み頂き、生徒に実践するようご指導ください。
- 体育館内ではマスクを着用して下さい。審判をされる先生方も同様とします。
- 「握手」「ハイタッチ」「肩を組む」など、競技以外の身体接触を控え、ミーティング等も短い時間で行い、密にならないようご指導ください。

4 試合について

(1) 試合者について

- 試合規定は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則、宮城県高体連剣道専門部申し合わせ事項、および今年度の代替大会特別ルールにより実施する。特別ルールは、大会要項を参照する。
- 全日本剣道連盟のガイドラインに基づき、選手は必ず「面マスク」を着用する。またシールドの着用を強く推奨する。

※「面マスク」は呼吸障害を起こさないよう、通気性のあるものが望ましい。(医療用マスクの使用は避けること)

- 鍔競り合いについては極力避ける。やむを得ず鍔競り合いとなった場合には、すぐに分かれるか引き技を出す。
- 試合中に面マスクによる呼吸困難や体調に異変を感じた場合は、すぐに審判員に対し中止要請をして休憩等の対応をとる。状況によっては、大会本部から試合中断（棄権）の判断を下す場合がある。
- 竹刀検量は行わない。事前に各学校で竹刀の点検を実施する。

(2) 審判員について

- 審判長は高体連の先生方で担当する。なお、審判監督会議も書面にて済ませる。
- 審判については、熱中症予防の観点からノーネクタイの略装とし、マスク着用を義務づける。
- 試合規定は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則、宮城県高体連剣道専門部申し合わせ事項、および今年度の代替大会特別ルールにより実施する。特別ルールは、大会要項を参照する。
- 鍔迫り合いは膠着しているのであれば10秒を待たないで「分かれ」をかける。
- 審判員は、試合者の中止要請がない場合でも、様子がおかしいときには「やめ」をかけて体調を確認し、休憩要請があれば適時休憩をさせる。
-

5 大会運営について（大会運営ガイドライン）

（1）手洗い場及びトイレ

- 手洗い場及びトイレについては、ポンプ型の手洗い石鹸を設置する。
- 手洗い励行を呼びかけ、「30秒以上手洗いをする」等の張り紙を掲示する。
- ドアノブ・水洗トイレのレバー等についてはこまめに消毒を行う。

（2）更衣室・待機スペース・練習会場

- 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等の換気を常に行う。
- ドアノブ等についてはこまめに消毒を行う。
- 更衣室の人数制限等、張り紙をして対処する。

（3）大会会場の管理・運営

- 三密や熱中症対策のため、来賓は呼ばず、審判長も高体連の先生方で担当する。なお、審判監督会議も書面で済ませる。
- アリーナの窓は常時開放し、換気を常に行う。
- 熱中症対策のため、常に水分補給ができるように水筒等を各自で持参させる。
- 熱中症対策のため、大型扇風機等を使用して体感温度を下げるようにする。
- コップ等の使い回しやペットボトルの回し飲みの禁止など周知徹底する。
- 受付窓口には、手指消毒剤を設置する。
- 受付業務は教職員が行う。受付では「大会参加に関する確認書」・「健康観察報告書」を回収する。体調不良者の入場を禁止する。並び方も、密にならないよう留意する。
- ゴミは持ち帰りとするため、受付時に人数分のゴミ袋を配布する。
- 体調不良者等が出た場合に対応するため、大会期間中は常時看護師の配属を要請し、休憩用の部屋も用意する。
- 大会会場へ入館するすべての者は、入口で消毒を行う。
- 報道関係者、写真業者、外部指導者（指導員）、参加校の写真部員の入場は認める。ただし、生徒心得の遵守を呼びかける。
- このガイドラインは、宮城県や全剣連・宮剣連の通知および今後の知見の集積や感染状況等により、逐次見直すことがあることをご了解ください。